

櫻

けやき

小牧幼稚園 園だより 第374号 2022年4月
教育目標「神を敬い 人を愛し 平和を作り出す子どもを」
年主題「つながって」～今、わたしを生きる～
年聖句「主がすべての災いを遠ざけて あなたを見守り
あなたの魂を見守ってくださるように。あなたの出で立つのも
帰るのも 主が見守ってくださるように。今も、そしてとこしえに。」

詩編121：7-8

「冬きたりなば 春遠からじ」イギリスの詩人 シェリーの詩集「西風に寄せる歌」より。「苦しい時期を耐え抜けば、やがて幸せが巡ってくる」という期待を込めた、例えとして、よく使われる一節です。この3月で小牧幼稚園を卒園し小学校へ行く子どもたちは、この数年、コロナという言葉に惑わされてきたようです。でも本当は、私たち大人の方が惑わされ、不安の中で過ごしてきました。子どもはどうなのか年中組の、1学期、休園明けの5・6月、解き放たれたように、園内を駆け巡って、友達を求めあっていました。まさしく「春！！」が来た。そんな感じでもありました。大人が心配して、心配して、あの時から、今も不安の中にいるのに、子どもは、毎日が春のようで、みどり組の保育室からは、卒園式で歌われる歌の練習の後、その日、一番の大声で「ぴっか、ぴっかの、1年生」が流れその後、「どっきどっきの1年生」と歌いながらも、半分以上は、1年生への期待で、いっぱいなようです。幼稚園でも小学校への期待が持てるよう、子どもたちと接しています。この園だよりでも、毎回のよう、「コロナ」という単語が出てきました。この私が、1番コロナに惑わされたいるのかもしれませんが。そして、現在は家庭にも持ち込まれ、家庭内に閉じこもり、辛い日々を家族で過ごしている家庭もあります。その辛さもいつかは終わり、春が巡ってきます。みどり組の子ども、やっと6年、この世が過ぎました。まだまだ、長く続く未来があります。冬が来ることも、多々あるかもしれません。その後に「春遠からじ」やがて幸せが巡ってくることを、期待してください。これは子どもだけではありません。毎日のように、家庭内でのトラブル記事が、新聞に出ています。読むたびに、心が痛み、私の力が及ばないことばかりで、苦痛です。今住んでいるところが、故郷、心が落ち着く場所になるように願っています。また、この幼稚園で過ごした日々を、いつの日か、家族で思い起こしてください。少しは心が安らぐかもしれません。幼稚園を思い出の場所として、心の片隅に残して頂ければ幸いです。

子どもたちが、新中学生になったとき、同窓会で会えること楽しみにしています。

ご家族の皆さん、3年間、園だよりをお読み頂きありがとうございました。同じことばかりのお話でしたが、子どもに対する思いは、いつも同じなので、同じ話ばかりになっています。是非、また、遊びにおいでください。子どもの育ちを、お聞かせください。

3月の給食メニュー

3月	1日(火)	クロワッサン 鶏の唐揚げ 果物
	3日(木)	ちらし寿司 果物 (みどり組は卒園遠足 雨天中止の時はお弁当)
	4日(金)	中華五目御飯 果物
	8日(火)	デニシュパン ソーセージ 果物
	10日(木)	豚汁 ゆかりご飯 果物
	11日(金)	カレーライス 果物
	15日(火)	半日保育
	*以後、あお組	もも組
	17日(木)	焼きそば ご飯 果物
	18日(金)	鶏ごぼうご飯 果物
	22日(火)	デニシュパン ソーセージ 果物

*食材により、メニューの変更もあります。

*愛知県経常費補助金のお知らせ

愛知県は極めて厳しい財政状況の中で、県下の幼稚園に対して多額の補助金が交付され、私学助成の充実に力を注いでいます。この補助金は、幼稚園の人件費・消耗品等・教育に必要な経常的経費に補助されるもので、次の3点が目的になります。①教育条件の向上維持、②父母負担の軽減、③経営の安定化です。小牧幼稚園は、令和3年度32,691,000(園児一人当たり、208,223円)の補助を受け、前記の3項目に対して効果が見られ来年度も、入園料・保育料共に今年度のままでも安定した運営が見込まれそうです。

また、小牧幼稚園では、特別支援教育にも力を注いでいるため、特別支援教育のための補助も頂いております。

☆今年度の父母の会の会計報告は4月号で行います。

☆最近人から教えられたのですが、東京にあります城西教会附属城西幼稚園ではクラス名がすみれ・ひばり・めだかになっているそうです。やはり、幼児賛美歌「つくしのよう」から引用されたとのこと。小牧幼稚園では、園歌にして毎日のように歌っています。みどり組の子どもにお話しすることは、幼稚園にあって、学校になんかいいことは、イエス様のお話し、賛美歌だよと伝えます。そうすると、「つくしのよう」はもう歌わないんだ、と少し淋しそうにします。でも、神様はみんながどこにいても見守ってくれるよ、と伝えます。安心して学校へ行ってね、と。実は「つくしのよう」は、前の園長(私の父親)が80年ほど前に、作詞した幼児賛美歌です。全国の教会幼稚園で歌われ、小牧幼稚園と同じようにクラス名にしているところも多くあります。

☆今年度をもって、原田(中里)理沙先生が退職します。これからも神様のお守りがありますように。